

令和2年度 地域学交流集会 実施報告（HP版）

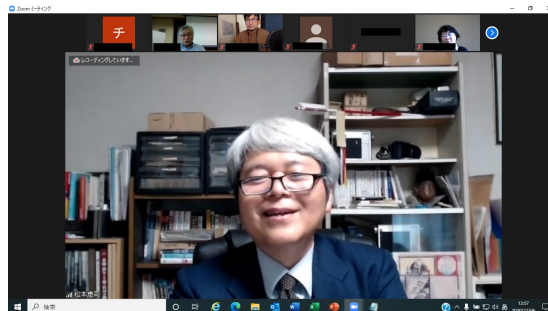
- ◆日時 : 12月6日(日) 13:00~16:30
- ◆会場 : オンライン (Zoom)
- ◆テーマ : 《オンライン地域学交流集会》 With/After コロナの地域学と地域づくり
- ◆内容 : 地域社会に大きな変動を生じさせた COVID-19 の流行で、地域社会にこれまであった多くの活動が停滞する中、状況に適応するだけでなく、乗り越えるための視点の転換や行動の変容をもたらす新たな活動や学び、つながりに焦点をあて、With/After コロナの時代に新たな可能性を広げる地域学そして地域づくりのあり方を探りました。
 - 10:00 入室練習 (1時間)
 - 12:50 開場 (入室可)
 - 13:00 オリエンテーション (主催者挨拶・講師紹介・当日のルールやお願い)
 - 13:10 リレーインタビュー
 - 「距離は保ちつつ心の距離が近まるオンライン公民館」
おきなまさひと氏 (まちびと会社 visionAreal 共同代表)
 - 「王家領矢野荘がフィールド 相生歴史研究会~定例会を Zoom で運用して見て~」
松本恵司氏 (相生歴史研究会会長)
 - 14:20 実践交流ラウンドテーブル「ピンチをチャンスに変える方法をとことん考えよう！」
 - ①自己紹介&感想 (グループワーク)
 - ②団体活動報告と意見交換 (グループワーク)
 - ③グループ発表と共有 (全体)
 - ④地域学・地域づくりのポイントとまとめ (全体)
 - ⑤「夢・野望・妄想」を語る (グループワーク)
 - 16:30 閉会
- コーディネーター (一社) とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏
- ◆参加者 : 20名ほか事務局4名
 - ※地域学・地域づくり団体ほか、行政職員、社会教育関係者、関心のある方など
- ◆多様な出会いから多くの気づきを得られた当日の様子
講演の様子 (スピーカービュー) 廣瀬氏



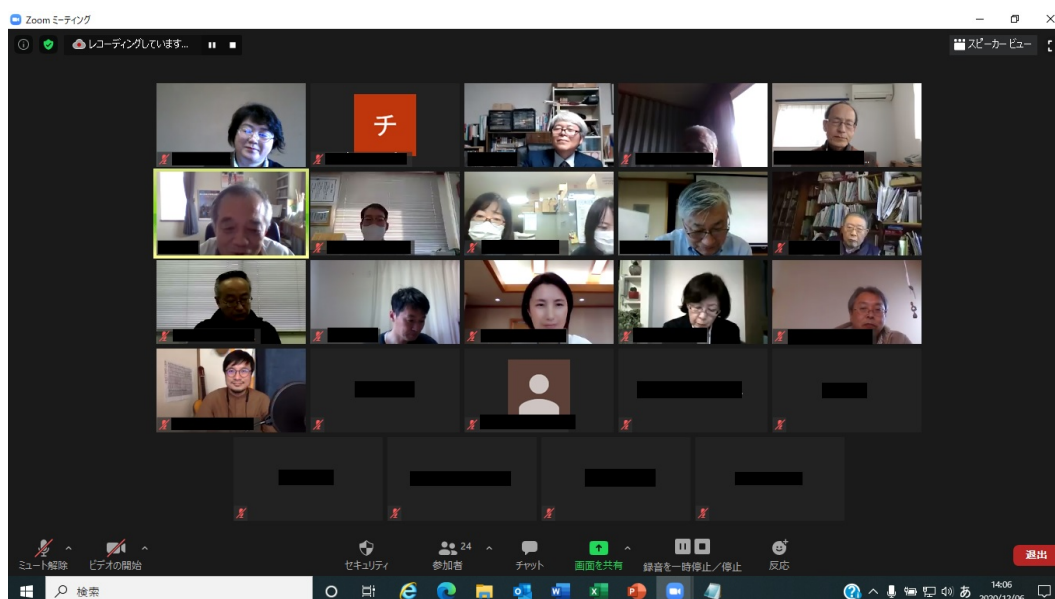
おきな氏



松本氏



全体の様子（ギャラリービュー）



<参加者VOICE>

- ・リアルタイムで各地の人と交流でき新鮮な体験でした。
- ・地域づくりという視点でのより柔軟な発想を学ぶことができました。
- ・多様な出会いから気づきを得られる貴重な機会です。現場の声が何より得難い。
- ・遠くの講師の方ともつながり合えたことは自分にとっても新しい刺激となりました。
- ・Zoomを使った研修会、グループワークも行えることに驚きました。今後の研修会運営の参考になりました。
- ・公民館が首長部局に移管される動向の中で、「距離は保ちつつ心の距離が近まるオンライン公民館」というように公民館が捉えられていることに感動しました。
- ・コロナ禍での他団体の取り組みについて知ることができました。同じような課題を持っている団体があり、その解決方法についても参考となる話を拝聴できたので今後に活かせれば。
- ・グループワークによって、他団体の活動や考え方、目標や姿勢などを直接聞くことができ、今後の自身の活動や運営にも取り入れられる箇所が多く、気づきの多い時間でした。
- ・Zoomを活用した講座について、前々から参加したいと思っていたが、ようやくできました。我が家にいながら、各地の方々と交流できることに、感動しました。
- ・オンラインでの意見交換は、大変有意義で貴重な体験でした。